



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社  
 コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 北里 真一  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6895-6261

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	114,594	16.5	6,408	—	7,311	—	9,659	—
25年3月期第3四半期	98,363	△2.1	282	△63.0	582	—	△549	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,160百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △622百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	41.87	—
25年3月期第3四半期	△2.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	220,925	64,741	28.2
25年3月期	181,682	52,633	27.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 62,354百万円 25年3月期 50,583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	18.7	8,400	616.1	8,400	232.1	10,000	—	43.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(平成26年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	230,764,400 株	25年3月期	230,764,400 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	89,297 株	25年3月期	86,682 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	230,676,611 株	25年3月期3Q	230,677,943 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。また、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間）の外航海運市況は、ドライバルクにつきましては、年初は昨年度と同様に全船型市況で低調な足取りを見せましたが、夏以降は、それまで船腹需給を緩和していた気候的要因等が収束し、中国の鉄鉱石輸入の増加・資源大手の増産が船腹需要を押し上げ、ケープ型撒積船市況は4航路平均用船料が日額4万ドルを越す水準まで回復しました。また、パナマックス以下の中小型撒積船市況についても、北米の穀物収穫期、ケープ型撒積船市況の上昇に伴う分割配船の進行、インドネシアの非鉄鉱石輸出規制に備えた駆け込み需要等を受け、回復しました。

原油タンカーにつきましては、船腹過剰感は依然として強く市況は概して低調で推移しましたが、年末にかけ冬の需要期に備えた各国の原油積み増しを受け市況は上昇基調へと転じました。

このような状況の下、為替相場の円高は正もあり、外航海運事業の業績は増収増益となりました。

内航海運事業につきましては、セメント関連貨物や鉄鋼関連貨物の荷動きが堅調に推移した事もあり、業績は前年同期比で増収増益となりました。

燃料油価格は、依然高水準であるものの軟化基調で推移し、当社の第3四半期連結累計期間の平均購入価格はトン当たり約628ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比で約65ドル下落しました。また対米ドル円相場は期中平均で98円89銭と、前年同期比では18円78銭の円安となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,145億94百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は64億8百万円（前年同期比2,172.3%増）、経常利益は73億11百万円（前年同期比1,156.2%増）、四半期純利益は96億59百万円（前年同期は5億49百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、392億43百万円増加の2,209億25百万円となりました。このうち流動資産は現金及び預金や受取手形及び営業未収金の増加により、90億15百万円増加しました。固定資産は主として船舶の増加により、302億28百万円の増加となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、271億35百万円増加の1,561億84百万円となりました。このうち流動負債は支払手形及び営業未払金、短期借入金等の増加と未払金等の減少の差引により、34億77百万円減少しました。固定負債は主として長期借入金の増加により、306億11百万円増加しました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと、およびその他の包括利益累計額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ121億8百万円増加し、647億41百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期				
	期初予想	前回予想	今回予想	前回予想比	
				増減額	増減率
売上高	148,000	154,000	156,000	2,000	1.3%
営業利益	3,700	8,200	8,400	200	2.4%
経常利益	2,300	7,200	8,400	1,200	16.7%
当期純利益	3,500	8,800	10,000	1,200	13.6%

※期初予想(平成25年4月30日)、前回予想(平成25年10月31日)及び今回予想における第4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格(内地C重油)の前提は以下の通りです。

第4四半期前提	期初予想	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=90円	US\$=97円	US\$=102円
燃料油価格(内地C重油)	US\$670/MT	US\$670/MT	US\$670/MT

第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成25年10月31日付けで公表した平成26年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正いたします。第4四半期の前提条件は、対米ドル円換算率を102円（前回比5円安）へと見直し、また燃料油価格は前回前提と変わらず内地C重油価格トン当たり670ドルのままとしています。

なお平成25年10月31日付けで公表した期末配当予想額につきましては修正はありませんが、今後の業績を見極めて期末配当額を決定いたします。

本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので併せてご覧下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
（耐用年数の変更）

当社の連結子会社であるNS UNITED TANKER PTE. LTD. は、所有船舶の定期検査において使用状況がより明確になったことを契機に、平成25年度以降のケミカルタンカー事業計画を見直したことに伴い、第1四半期連結会計期間より所有船舶の耐用年数を従来の13年から18年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ281百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,432	22,873
受取手形及び営業未収金	13,991	17,634
たな卸資産	7,423	7,723
前払費用	2,111	3,384
繰延税金資産	2,939	2,470
その他流動資産	3,055	4,887
貸倒引当金	△22	△26
流動資産合計	49,930	58,945
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	95,539	137,015
建物（純額）	592	569
土地	796	797
建設仮勘定	26,936	14,522
その他有形固定資産（純額）	366	200
有形固定資産合計	124,229	153,102
無形固定資産	280	235
投資その他の資産		
投資有価証券	4,620	5,837
繰延税金資産	1,500	1,705
その他長期資産	1,124	1,101
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,243	8,643
固定資産合計	131,752	161,980
資産合計	181,682	220,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,058	7,826
短期借入金	14,558	16,527
未払金	6,758	234
未払費用	286	375
未払法人税等	366	252
繰延税金負債	546	1,721
前受金	1,115	1,208
賞与引当金	367	91
役員賞与引当金	37	20
デリバティブ債務	6,686	5,524
その他流動負債	1,516	2,039
流動負債合計	39,293	35,816
固定負債		
長期借入金	85,103	116,532
退職給付引当金	1,096	1,060
特別修繕引当金	2,181	1,712
繰延税金負債	1,296	968
その他固定負債	81	95
固定負債合計	89,756	120,367
負債合計	129,049	156,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,429	13,429
利益剰余金	28,943	38,602
自己株式	△26	△27
株主資本合計	52,646	62,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	1,185
繰延ヘッジ損益	△1,266	△288
為替換算調整勘定	△1,074	△848
その他の包括利益累計額合計	△2,064	49
少数株主持分	2,050	2,388
純資産合計	52,633	64,741
負債純資産合計	181,682	220,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	98,363	114,594
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	93,564	103,615
売上総利益	4,799	10,979
一般管理費	4,516	4,571
営業利益	282	6,408
営業外収益		
受取利息	121	59
受取配当金	54	88
持分法による投資利益	34	34
為替差益	765	1,864
その他営業外収益	443	102
営業外収益合計	1,417	2,147
営業外費用		
支払利息	992	1,176
その他営業外費用	125	68
営業外費用合計	1,117	1,244
経常利益	582	7,311
特別利益		
固定資産売却益	1,159	3,664
負ののれん発生益	54	—
特別利益合計	1,213	3,664
特別損失		
固定資産売却損	106	—
子会社株式売却損	115	—
用船解約金	2,252	—
特別損失合計	2,474	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△678	10,975
法人税等	△327	957
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△351	10,018
少数株主利益	198	359
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△549	9,659



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△351	10,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153	935
繰延ヘッジ損益	201	981
為替換算調整勘定	△327	120
持分法適用会社に対する持分相当額	8	106
その他の包括利益合計	△271	2,142
四半期包括利益	△622	12,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△816	11,772
少数株主に係る四半期包括利益	193	388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	81,213	16,534	97,747	616	98,363	—	98,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	376	378	△378	—
計	81,213	16,536	97,749	992	98,741	△378	98,363
セグメント利益 又は損失(△)	△634	891	257	13	270	12	282

- (注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	96,898	17,397	114,294	299	114,594	—	114,594
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	264	267	△267	—
計	96,898	17,399	114,297	563	114,860	△267	114,594
セグメント利益	4,920	1,464	6,383	16	6,400	8	6,408

- (注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。